

2023年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名 VALUENEX株式会社
 コード番号 4422 URL <http://valuenex.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833

定時株主総会開催予定日 2023年10月26日 配当支払開始予定日 -

有価証券報告書提出予定日 2023年10月26日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期の連結業績（2022年8月1日～2023年7月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	704	7.8	38	△5.1	37	△27.9	37	12.5
2022年7月期	653	38.0	40	-	52	-	33	-

(注) 包括利益 2023年7月期 41百万円 (△12.7%) 2022年7月期 47百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年7月期	13.20	12.72	5.0	4.0	5.5
2022年7月期	11.76	11.47	4.7	5.8	6.3

(参考) 持分法投資損益 2023年7月期 -百万円 2022年7月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	941	780	82.6	273.73
2022年7月期	967	736	75.8	258.71

(参考) 自己資本 2023年7月期 777百万円 2022年7月期 733百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	△28	△1	1	793
2022年7月期	91	7	1	820

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年7月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

2024年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年7月期	2,893,300株	2022年7月期	2,889,300株
2023年7月期	54,000株	2022年7月期	54,000株
2023年7月期	2,838,355株	2022年7月期	2,832,353株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、内需及びインバウンド需要の回復など、社会活動の正常化の動きがみられました。一方で、国際情勢不安、円安の進行、物価上昇など、景気動向についてもいまだ予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んだ結果、国内のASPサービスを中心に堅調に推移いたしました。また、営業活動及び開発等で必要な人材の採用を行いまして、採用は8名となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は704,480千円(前年同期比7.8%増)、営業利益は38,823千円(前年同期比5.1%減)、経常利益は37,877千円(前年同期比27.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は37,462千円(前年同期比12.5%増)となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当連結会計年度におけるコンサルティングサービスの売上高は、369,223千円(前年同期比7.2%増)でありました。

(b) ASPサービス

当連結会計年度におけるASPサービスの売上高は、329,894千円(前年同期比10.4%増)でありました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は872,782千円となり、前連結会計年度末に比べ20,307千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が26,670千円、売掛金が12,447千円減少し、仕掛品が2,051千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は68,366千円となり、前連結会計年度末に比べ6,401千円減少いたしました。これは減価償却等によって有形固定資産が4,380千円、投資その他の資産が2,021千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ26,708千円減少し、941,149千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は160,780千円となり、前連結会計年度末に比べ70,027千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が25,374千円、前受金が16,085千円、その他流動負債が27,588千円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定負債は356千円となり、前連結会計年度末に比べ313千円減少いたしました。これはその他固定負債が121千円増加し、リース債務が435千円減少したことによるものであります。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ70,341千円減少し、161,136千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は780,012千円となり、前連結会計年度末に比べ43,632千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が37,462千円計上されたことと、新株予約権の行使により資本金が1,244千円、資本剰余金が1,244千円増加したことによるものであります。なお、2022年12月の減資及び欠損填補により、資本金が451,458千円減少し、資本剰余金が182,815千円、利益剰余金が268,642千円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて26,670千円減少し、793,780千円となりました。当連結会計期年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、支出した資金は28,664千円となりました。(前連結会計年度は91,166千円の収入)これは主に売掛金の減少15,013千円、前受金の減少16,538千円、未払消費税等の減少23,403千円によ

るものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、支出した資金は1,304千円になりました。(前連結会計年度は7,972千円の収入)これは有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、取得した資金は1,984千円となりました。(前連結会計年度は1,504千円の収入)これは新株予約権の行使による株式の発行による収入2,420千円とその他に含まれるリース債務の返済による支出435千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期(2024年7月期)においても、国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んでまいります。特に、比較的堅調に推移しているASPサービスを更に成長させるため、引き続き開発の強化が重要課題と考えており、そのための開発投資を行ってまいります。

一方で、ウクライナ侵攻の長期化による弊社お客様の事業への影響、急激な円安などの為替変動リスク等、当社グループの業績に与える影響が依然として不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。以上の状況から、次期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当連結会計年度 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	820,451	793,780
売掛金	40,081	27,633
仕掛品	5,513	7,564
その他	27,044	43,804
流動資産合計	893,090	872,782
固定資産		
有形固定資産		
建物	54,415	54,562
減価償却累計額	△8,788	△11,306
建物(純額)	45,627	43,255
工具、器具及び備品	34,843	36,777
減価償却累計額	△29,807	△32,173
工具、器具及び備品(純額)	5,035	4,603
リース資産	2,118	2,118
減価償却累計額	△1,315	△1,716
リース資産(純額)	803	401
建設仮勘定	1,173	-
有形固定資産合計	52,640	48,260
投資その他の資産		
その他	22,127	20,106
投資その他の資産合計	22,127	20,106
固定資産合計	74,767	68,366
資産合計	967,857	941,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,167	4,187
リース債務	435	435
前受金	139,418	123,332
未払法人税等	25,374	-
その他	60,413	32,825
流動負債合計	230,808	160,780
固定負債		
リース債務	471	36
その他	198	320
固定負債合計	670	356
負債合計	231,478	161,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当連結会計年度 (2023年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,458	81,244
資本剰余金	544,627	728,687
利益剰余金	△326,457	△20,352
自己株式	△22,500	△22,500
株主資本合計	727,128	767,078
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,378	10,128
その他の包括利益累計額合計	6,378	10,128
新株予約権	2,873	2,805
純資産合計	736,379	780,012
負債純資産合計	967,857	941,149

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
売上高	653,401	704,480
売上原価	142,915	167,339
売上総利益	510,485	537,141
販売費及び一般管理費	469,564	498,317
営業利益	40,921	38,823
営業外収益		
受取利息	12	7
助成金収入	13,356	-
その他	36	80
営業外収益合計	13,405	87
営業外費用		
支払利息	46	18
為替差損	1,685	1,015
その他	92	-
営業外費用合計	1,824	1,033
経常利益	52,502	37,877
税金等調整前当期純利益	52,502	37,877
法人税、住民税及び事業税	19,195	415
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	19,195	415
当期純利益	33,306	37,462
親会社株主に帰属する当期純利益	33,306	37,462

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
当期純利益	33,306	37,462
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,901	3,750
その他の包括利益合計	13,901	3,750
包括利益	47,208	41,212
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	47,208	41,212

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	530,273	543,442	△359,763	△22,500	691,451
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			33,306		33,306
新株の発行(新株予約権の行使)	1,185	1,185			2,370
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,185	1,185	33,306	-	35,676
当期末残高	531,458	544,627	△326,457	△22,500	727,128

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△7,523	△7,523	2,924	686,852
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				33,306
新株の発行(新株予約権の行使)			△51	2,319
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,901	13,901		13,901
当期変動額合計	13,901	13,901	△51	49,527
当期末残高	6,378	6,378	2,873	736,379

当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	531,458	544,627	△326,457	△22,500	727,128
当期変動額					
減資	△451,458	182,815	268,642		-
親会社株主に帰属する当期純利益			37,462		37,462
新株の発行 (新株予約権の行使)	1,244	1,244			2,488
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△450,214	184,059	306,105	-	39,950
当期末残高	81,244	728,687	△20,352	△22,500	767,078

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,378	6,378	2,873	736,379
当期変動額				
減資				-
親会社株主に帰属する当期純利益				37,462
新株の発行 (新株予約権の行使)			△68	2,420
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	3,750	3,750		3,750
当期変動額合計	3,750	3,750	△68	43,632
当期末残高	10,128	10,128	2,805	780,012

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	52,502	37,877
減価償却費	5,323	5,528
受取利息	△12	△7
助成金収入	△13,356	-
支払利息	46	18
売上債権の増減額(△は増加)	△23,223	15,013
棚卸資産の増減額(△は増加)	△787	△1,893
仕入債務の増減額(△は減少)	344	△1,009
未払消費税等の増減額(△は減少)	-	△23,403
前受金の増減額(△は減少)	33,264	△16,538
その他の流動資産の増減額(△は増加)	694	△16,244
その他の流動負債の増減額(△は減少)	34,338	△5,118
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,438	2,677
その他の固定負債の増減額(△は減少)	181	110
小計	91,752	△2,989
利息の受取額	12	7
利息の支払額	△46	△18
助成金の受取額	332	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△885	△25,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,166	△28,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△1,304
敷金及び保証金の回収による収入	7,972	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,972	△1,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,319	2,420
その他	△814	△435
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,504	1,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,588	1,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112,231	△26,670
現金及び現金同等物の期首残高	708,219	820,451
現金及び現金同等物の期末残高	820,451	793,780

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2022年12月16日付けで減資の効力が発生し、当連結会計年度において資本金が451,458千円減少、その他資本剰余金が451,458千円増加しております。また、増加したその他資本剰余金のうち268,642千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

また、新株予約権の行使により、当連結会計年度において資本金が1,244千円、資本準備金が1,244千円増加しております。

これらにより、当連結会計年度末において、資本金が81,244千円、資本剰余金が728,687千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり純資産額	258.71円	273.73円
1株当たり当期純利益	11.76円	13.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	11.47円	12.72円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	33,306	37,462
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	33,306	37,462
普通株式の期中平均株式数(株)	2,832,353	2,838,355
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加額(株)	71,318	105,894
(うち新株予約権(株))	(71,318)	(105,894)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。